

前回大会を終えて

市長 本日はお忙しい中お時間をいただきありがとうございます。

まずは、宮城県で開催された前回の全国和牛能力共進会(以下「全共」)において農林水産大臣賞を受賞されたわけですが、受賞の発表があつた際はどのようなお気持ちでしたか。

薬師さん 全共の場に参加することに喜びと不安を感じていたので、農林水産大臣賞受賞の結果を聞いたときは、驚きとうれしさ、また、それ以上に安堵の気持ちが大きかったです。個人というより、鹿児島の代表として結果を残すことができ、肩の

市長 やはり、日本一の畜産県の代表として相当なプレッシャーがあつたと思います。

素晴らしい結果を受けて、畜産関係者も大変盛り上がり、薬師さんの元にも数々の視察が訪れ、牛づくりへの期待が高まつたと思いますが、その後の環境の変化はいかがでしたか。

荷が下りて様々な感情が入り混じつていました。

市長 やはり、日本一の畜産県の代表として相当なプレッシャーがあつたと思います。

素晴らしい結果を受けて、畜産関係者も大変盛り上がり、薬師さんの元にも数々の視察が訪れ、牛づくりへの期待が高まつたと思いますが、その後の環境の変化はいかがでしたか。

薬師さん 畜産に関係のない人からも声を掛けもらえるようになります。

した。また、より良い肉を作ることに向けて気持ちを高める契機となりましたし、肝属、鹿屋地区を「畜産基地」にするために、さらに盛り上げていかないといけないという気持ちになりました。

畜産を始めたきっかけ

市長 農林水産大臣賞を受賞したことで、様々な重責の中で、経営

市長 本日はお忙しい中お時間をいたしきあります。

たときから父の牛に対する取り組みを見て、毎日の仕事の大変さ、厳しさを感じていましたが、自然と父と同じことをしていきたいと思うようになつたので、今の自分の取り組みは父の存在が一番大きかつたと思ひます。

市長 小さいころから牛舎に入つてお手伝いをさせていたのですか。

薬師さん 父が畜産をしていたために取り組まれていると思いますが、そもそもも薬師さんが畜産経営を志したきっかけをお話しいただけますか。

薬師さん 父が畜産をしていたため、物心ついたときから畜産が身近にある中で育つてきました。小さいときから父の牛に対する取り組みを見て、毎日の仕事の大変さ、厳しさを感じていましたが、自然と父と同じことをしていきたいと思うようになつたので、今の自分の取り組みは父の存在が一番大きかつたと思ひます。

市長 もともと動物は好きだったのですが、それとも、そのような環境の中で好きになつていかれたのですか。



全国和牛能力共進会とは

5年に1度開催され「和牛のオリンピック」と呼ばれる大会。和牛の能力と斉一性の向上を目指し、改良の成果やその優秀性を競います。

部	区分	種目	頭数	生後月齢
種牛	1区	若雄	2	15～23か月齢未満
	2区	若雌の1	2	14～17か月齢未満
	3区	若雌の2	2	17～20か月齢未満
	4区	繁殖雌牛群	3	3産以上、分娩間隔400日以内の3頭1組
	5区	高等登録群	3	直系3代(母牛、娘牛、孫娘牛)の3頭1組
	6区	総合評価群	4	17～24か月齢未満
肉牛	7区	総合評価群	3	24か月齢未満
	8区	脂肪の質評価群	3	24か月齢未満
	9区	去勢肥育牛	1	24か月齢未満
農業高校等	特別区	農業高校等	1	14～20か月齢未満

薬師さん 学校に行く前と学校から帰つた後に牛への餌やりなどをしていましたし、土日も友達と遊ぶよりも父の手伝いを優先していました。自然と牛が好きになり、自分はこれやらないといけないんだという気持ちになつていきました。

肉用牛肥育の秘訣

市長 皆さんに聞きたいことだと思いますが、素晴らしい肉用牛を育てるうえでの秘訣はありますか。ご自身の経営の特長として、心掛けていることがあれば教えてください。

薬師さん 素牛の導入の際に、自分のやり方に合つた素牛を買うことは大前提としてありますが、餌に関しては、どの農家さんもそれぞれの材料や配合のやり方があり、マル秘を持つていてるという点では皆さん変わらない状況だと思います。ただ、毎日の牛の観察や細かいことを徹底して行なうことは意識しています。また、ここ数年の取り組みとして自然由来の材料を牛に与えるようになります。た。漢方薬のようなものであるファーミングになりづらくなつたり、餌の食い込みが良くなつたりして、さらに牛づくりへの自信が持てるようにな



▲前回の全共では、鹿屋市から県内最多の7頭が出品され、いずれも上位に入賞

市長 本市の畜産は、飼養頭数及び出荷頭数が全国でもトップクラスにあり、本市農業産出額の75%を占め、県内屈指の畜産地帯を形成しております。高齢化や担い手不足など、経営者数は減少していますが、経営者

薬師さん 今の経営状況を大きく変えることは考えていないです。子どもたちについても、もちろん強制・強要はできませんが、現在大学に在籍している長男が跡を継ぎたいと言つてくれるのであれば自分の持つ技術や畜産のやり方を教えながら、牛肉の加工・販売までやっていけるとうれしいです。

加できれば一番いいのかなと思いま
す。

市長 いつも来ても牛舎がきれいで換
氣が良く、牛も居心地が良さそうで
すが、環境という面ではいかがです
か。

やくし なりひと
薬師 成人 さん (45歳)
下堀町在住。母と妻とともに肥育牛と露地園芸の複合経営に取り組む。現在、肥育牛110頭を飼育し、露地園芸では甘藷、加工大根、ごぼうを生産している。

- 主な受賞歴
- 平成29年 第11回全国和牛能力共進会
第9区 優等賞1席農林水産大臣賞
- 令和2・3年 鹿児島県枝肉共進会
グランドチャンピオン(2連覇)



若い世代へのメッセージ

薬師さん 1年を通じて暑さ、寒さ
対策をはじめとして牛にストレスを
与えない環境づくりを心掛けていま
す。人が来ても牛が騒ぐことはあり
ません。また、夏場であればハエを
1匹でも減らすような努力をするな
ど、衛生面においても細かいことに
気を付けて取り組んでいます。

市長 個々の経営もそうですが、畜産のまちとして、全体でレベルを上げていくためには情報共有や仲間づくりが大事だと思います。

複合経営について

市長 これだけの規模で肥育経営と露地園芸の複合経営をされている方は珍しいと思うのですが、どのようないい・方針で取り組まれているのですか。

薬師さん 本音を言えば、畜産だけ取り組めたほうが体力的にも楽です。しかし、飼料・資材費の高騰や新型コロナウイルスの影響など様々の要因により、資金面が圧迫されることがあるので、1年間波のない経営をするために、父の代から変わらず畜産と露地園芸の両方を行っています。

市長 当然、価格の変化があるわけですし、資材を含めコストもかかりますので、経営していくうえでのリスク分散という意味もあるでしょうし、機械を使い回せるということもあるのではないでしようか。

鹿児島開催の全共に向けて
市長 さて、10月には鹿児島で全共
が開催されます。全国の舞台に立つ
には市や郡、県などの予選を突破し
なければならず、大変狭き門だと思
いますが、市内では薬師さんの他に
も2名の方が全共に向けて出品候補
牛を育てていらっしゃいます。全共
に向けての意気込みを聞かせてくだ
さい。

薬師さん 地元開催ということでは
が非でもその舞台に立ちたいという
思いも強いのですが、鹿屋地区には
ベテランの方々がいらっしゃるの
ど、

